

報道関係各位

2025 年 6 月 24 日

株式会社ベルシステム 24 ホールディングス

ベルシステム24、神戸ソリューションセンターにて、 持続可能な社会を実現する「サステナブル・センター」の取り組みを強化

～「人と働き方の多様性」「地球環境の保護」の2つの分野での取り組みを具体化～

株式会社ベルシステム 24 ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：梶原 浩、以下：当社）は、自社コンタクトセンターである神戸ソリューションセンター（兵庫県三田市）において、持続可能な社会の実現に貢献する「サステナブル・センター」の取り組みを進めています。

「人と働き方の多様性」「教育・研修」「地球環境の保護」「地域への貢献」の4つの分野を中心に進めており、今回新たに2つの分野で取り組みを具体化しましたので、お知らせいたします。



LED 菜園による野菜の育成



太陽光による再エネの創出

■取り組み概要

①「人と働き方の多様性」に関する取り組み

神戸ソリューションセンターは、1999 年に地域密着型のセンターとして開設し、25 年以上にわたって地域で安定的に雇用を提供してきました。現在もシニア世代の雇用など、多様な人材が活躍しています。2025 年 5 月より新たに、障がいのある方々等、多様な人材のさらなる活躍の場の提供を目的として、LED 菜園（人工光型水耕栽培）と社内カフェを開設します。

LED 菜園は、センター内の執務スペースに設置することで室内の CO₂ を吸収し職場環境の改善にも貢献します。育てた野菜は、定期的に社内販売を行うことで、社員の健康増進をサポートします。

社内カフェでは、障がいのある方々がバリスタとして活躍します。2018 年より愛知県豊橋市にてチョコレート工場の共同運営を行っている「久遠チョコレート」*の商品も取り扱い、社員や来客に提供します。

* 久遠チョコレート：一般社団法人ラ・バルカグループが立ち上げた、障がいのある方や、様々な悩みを抱える方、そのご家族など多様な方々が働くチョコレートブランド

②「地球環境の保護」に関する取り組み

当社は、2040 年までに全社のカーボン・ニュートラル化を目指しています。すでに自社拠点では再生可能エネルギーを導入していますが、「使う」だけでなく「創り出す」取り組みとして、2025 年 2 月、センターの駐車場・駐輪場に太陽光発電設備を導入しました。創り出された電力は LED 菜園にも供給され、クリーンなエネルギーでセンターの取り組みを支えています。

このほか、「食品ロス」を削減する取り組みを行う「フードロス削減自動販売機」の導入や、CO₂ を吸収する「CO₂ を食べる自販機」を導入するなど、地球環境の保護に取り組んでいます。



左：社内カフェ



中：フードロス削減自動販売機



右：CO₂ を吸収する自動販売機

■今後の展望

今後、神戸ソリューションセンターでの「サステナブル・センター」の取り組みを、地域貢献の新たな形として発展させ、従来の企業と社会の境界をなくす新たなセンターモデルの構築を目指します。さらに、この先進的な取り組みを全国の拠点に展開することで、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

ベルシステム 24 について 企業 URL : <https://www.bell24.co.jp/>

株式会社ベルシステム 24 は、1982 年に日本初の本格的コールセンターサービス開始以来、様々な企業の消費者との接点を担うコミュニケーション基盤を構築し、コンタクトセンターを中核とした BPO 事業で業界スタンダードモデルを確立してきました。現在は、高度な人材力と最先端テクノロジーを融合し、「総合 BPO パートナー」として進化を続けています。顧客体験の革新からビジネスプロセスの最適化まで企業の DX を推進し、次世代の企業競争力を創出する戦略的パートナーとして、クライアント企業のビジネス進化を加速させます。

「イノベーションとコミュニケーションで社会の豊かさを支える」というパーパスのもと、社会のニーズに応える新たなソリューションを創出し、持続可能な社会の実現に貢献します。

本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本件に関するお問い合わせ

株式会社ベルシステム 24 ホールディングス 広報室

E-mail : pr@bell24.co.jp / TEL : 03-6896-6199